

地区名 由利本荘・にかほ市

所在地 由利本荘市矢島町長泥

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ ○ **水のはたらき**

露頭までの道のり

由利本荘市矢島町の長泥にあるグランド向かいに広がるところが観察場所となる。

安全上の留意点

近くに公共施設(グランド・駐車場・トイレ)があり、観察はしやすいが、会社の資材置き場になっているので許可をとる際には置いてあるものに触らない、必要以上に露頭を傷つけないなどの説明を会社の方とすること。露頭が崩れやすいのでむやみに登らせないことが大切。

観察のポイント

- ① 厚く泥の層が堆積していること。
- ② 粒が細かな泥岩の手触りを感じる。
- ③ 角ばった火山岩がないこと。
- ④ 大きな地層の広がりを感じる。



地質年代

新第三紀中新世中期～後期(約1100万年前頃)

解説

女川層と見られ、秋田県がまだ深い海底であった頃に堆積した泥の層が観察できる。泥とは言ってもとても硬く、化石は魚の鱗や骨などがでる層であることが報告されているが、今回の調査では見つけることはできなかった。どこを見ても泥の層であり、角ばった石などがなかったことから「水のはたらき」でできた大地だと判断できる。また、角の取れた丸い礫も見られたが、この層のものではなく、外部から持ち込まれたか、隣を流れる子吉川由来のものと考えられる。 (筆者独自調査)

露頭概観

指導形式

B



足下には、このように細かく割れて崖から崩れてきた泥岩の破片が多く見られる。硬いので、軍手を着用し肌を露出させないことが基本。



手に取るとその硬さがよく分かる。泥岩を地面などにこすりつけ、細かくした粉の手触り確かめて、粘土の粒の細かさを体感するのもよい。



隣にも同様の層が広がるが、傾斜が緩いためか植物が露頭の半分以上を覆っている。紹介した層とのつながりを説明する程度にとどめるとよいのでは。